

令和7年度 学習計画(シラバス)

教科		科目	対象学年 コース	単位数	担当者氏名	教科書 著者 発行所	使用教材・発行所
公民		公共	2年	2	加藤 咲希	「高等学校 新公共」 谷田部玲生 ほか 15名（第一学習社）	「新公共ノート」(第一学習社) 「最新図説 公共」(浜島書店)
指導の重点		1.現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 2.現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 3.よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。					
評価の観点		知識・技能	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。				
		思考・判断・表現	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。				
		主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。				
学習の評価		1. 定期考査、小テストで「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。 2. 協働学習等への参加態度、レポート、課題提出等で「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 3. 1の評価に2を加味し、総合的に評価する。					
学期	月	考査	単元	学習内容	学習の目標(ねらい) ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度		
1		中間 期末	第1編 公共の扉 第3章 公共的な空間における基本的原理	1 人間の尊厳と平等、個人の尊重 2 民主主義と法の支配 3 自由・権利と責任・義務 4 日本国憲法に生きる基本的原理	①人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 ②公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。		
			第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち	主題1 法や規範の意義と役割 主題2 契約と消費者の権利・責任 主題3 司法参加の意義 主題4 政治参加と公正な世論形成 主題5 国際社会と国家主権	①法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ②自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ③契約と消費者の権利・責任について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。		
					②政治分野の国会・内閣のしくみとも関連させ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。		
					②自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。		
					③政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。		
2		中間 期末	主題6 日本の安全保障と防衛 主題7 国際社会の変化と日本の役割	①国際社会と国家主権に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ②国際社会の特徴と課題について、幸福、正義、公正などに着目して考えている。			
			第3章 経済的な主体となる私たち	主題8 雇用と労働問題 主題9 社会の変化と職業観 主題10 市場経済の機能と限界 主題11 金融のはたらき 主題12 財政の役割と社会保障 主題13 経済のグローバル化	①雇用と労働問題に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ②法分野の基本的人権とも関連させ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③社会の変化と職業観について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。		
					①市場経済の機能と限界に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ②歴史など他教科で学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。		
					①金融のはたらきに関わる現実社会の事柄や課題を理解している。		
					①財政の役割と社会保障に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ②少子高齢化・人口減少などの社会背景をふまえ、幸福、正義、公正などに着目して考えている。		
3		学年末	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち	②公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。 ③公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。			
			第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方	①選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 ②幸福、正義、公正などに着目して考えている。			
			第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	①これまで学んだ内容や課題を解決するための知識を理解している。 ②地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだしている。 ②その課題の解決に向けて事実を基に協働して課題を、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。 ③現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。			